

WEEKLY 夏目ナナ、涙の引退グラフィティ&衝撃の告白!

¥350

プレイボーイ

超特大号 9・3 no.36

完熟ボディ、ここまで

ついに! 衝撃の美裸体

アキバ騒然、初水着!

小野真弓 佐藤寛子 AKB48

ムチムチ、ピチピチ水着3連弾!

福永ちな&松本さゆき

木口亜矢

鮎川穂乃果

横綱・朝青龍を
ブツ壊したのは
誰だ?

実録バトル!

盗撮探偵

VS 盗撮魔

ダル婚、古田退任騒動、薬物…「噂の真相」大追跡!

夏と野球と スキャンダル!

値上げラッシュで昼メシ大ピンチ!



極悪な盗撮魔がコッソリと仕掛けるビデオカメラに対して、その発見・発掘を職務とする男がいる。その名も「盗撮探偵」。使命感に燃えるこの男の仕事とハートを独占レポートする。

絶対ダメ！
ストップ盗撮
キヤンペーン
第3弾

「盗撮魔」 りなき戦い

盗撮探偵に必要な素質は、
執念・執念・執念

「今までに見た盗撮ビデオの数は、ゆうに2万本を超えています」

そう話す男は関西地方在住の平松直哉氏（41歳）。だが、彼は単なる盗撮ビデオマニアではない。彼の職業は「探偵」。浮気調査・身上調査・企業調査などの民事問題を幅広く手がけるほか、詐欺や恐喝・ストーカー被害調査などの刑事事件さえも手がけるツワモノなのだ。

だが、彼には知る人ぞ知るライフワークがある。そう、彼こそが世界で唯一の「盗撮探偵」だったのである。

平松氏が「盗撮撲滅」に命を懸けた戦いの日々を熱く語ってくれた。

まずはじめに、盗撮探偵としての仕事ぶりから伺おう。

「そやね。ボクがまずやることは、実際に盗撮されている現場を特定すること。その手順は、市販されている盗撮DVDやネットに流れている映像の問題場面を探し出して

画面撮りすることから始まる。

ビデオを買う時のポイントは、よりマニアックなモノを扱っている店を見つけて出し、店員さんと仲良くなることです。この作品はいつ頃の、どこのメーカーの作品なのか

ど、過去の発売状況などをきりげなくリサーチする。本物の盗撮ビデオであるか否かを見極める上で、こうした情報を聞き出すことが大事なんです。

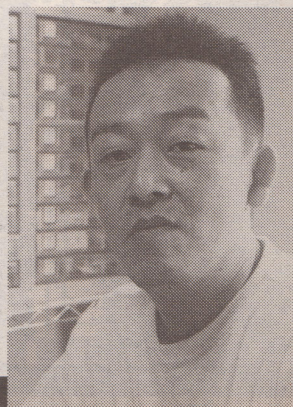
画面撮りしたら、次に日本中の日帰り入浴施設や温泉宿泊施設などのパンフレットを取り寄せたり、ホームページなどを見て、実際に映っているものの同一性を確認する作業をします。

それ以外にもコインロッカーの形状とか貼り紙に書かれた内容などから施設の特徴を割り出し、ドアの形やタイルの色、ダクトの配置など構造上動かすことのできないものをチェック。そこから場所を特定していきます。

そうした細かな作業は本当に大変ですが、それをしなくては「間違いない！」と自信を持って言える場所を探し出すことはできません。

そうして、ひとつの盗撮被害現場について数十カ所の特徴点を見つけ出し、それから、その現場に行きます。そして店の責任者に状況を伝え、一緒に特徴点を確認して注意を促します。例えば、『この排気口からカメラ

平松直哉 ひらまつ ひとあき
平松総合調査事務所の所長探偵。主に大阪、和歌山で活動をしている。連絡先は ☎072・861・0708



を入れている」とか『この窓は塞いだほうがいい』とか。盗撮犯に狙われやすい場所の改善が盗撮撲滅にダイレクトにつながるんです

それから、解析した映像の中から犯人が選ぶ盗撮のロケーションの規則性を見つけ出し、その場に合った盗撮発見道具なども考案しました

平松氏はこんな作業を、かれこれ約7年にわたって続けてきた。今では北海道から関西まで46カ所、韓国も1カ所、計47カ所の盗撮現場の割り出しに成功している。

ところで、この作業を成功させるポイントは何？

「そうですね…。これはたぶん執念ってヤツじゃないですか？（苦笑）ボクが「盗撮犯罪」の現状を知った

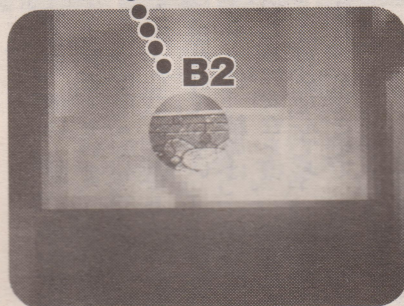
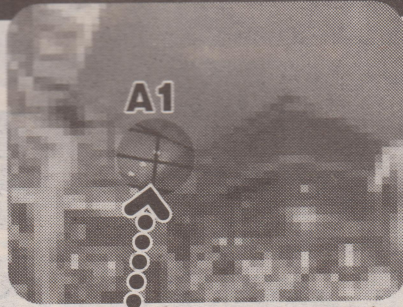
事務所の棚には、購入した盗撮DVD 1万枚以上が並ぶ。特殊な方法でしか手に入らないモノも



たったひとりで卑劣な犯罪を阻止し続ける孤高の人生

実録ドキュメント 「盗撮探偵」VS

終わ



上段の写真(A1、B1)は盗撮ビデオに映っていた映像。下段の写真(A2、B2)は実際に平松探偵が直撃取材した現場写真。

右列は浴場。上部分のガラスの形、ワクの数がA1、A2の箇所と同じ。左列は温泉脱衣場。スタンドグラスの形状がB1、B2の箇所と同じ。こうして現場を特定していく

のは、ある人からの相談でした。その相手というのが、なんと地元の警察官(笑)。信じられないことに、警察官でさえも取り締まる法律がないことや被害者が見つからないということ、動くことができなかったんです。話を元に取り寄せたビデオを見て、『なんじゃこりゃ!!』と驚きました。そこには年齢に関係なく女性の入浴シーンが隙間なく映されていたんです。

しかも法律で写すことが厳しく規制されているはずの小学生くらいの女のコマが丸裸で映っているんですから、これはショックでした。こうなりや俺が調べてやろうって……」

つらいぜ、「1週間・盗撮場所確定の旅」

憎むべき盗撮行為。しかし、それ以上に危険なことがあると平松氏は警鐘を鳴らします。

「懸念されるのはむしろ盗撮されたことよりも、そうした映像を使った二次犯罪ではないかと考えています。

例えば、これは私の地元で起こった事件ですが、ある市の職員が女性に対し

て、実際には盗撮していないのに「おまえの裸を撮影した」と脅しをかけて、警察に逮捕されました。

この件の女性は、実際に盗撮されていたわけではありませんでした。ですが、氾濫する盗撮映像の中から偶然、知り合いの女性を見つかったりして、それを見た男がなんらかの悪事を企てる可能性も否定できません。

ひとつの盗撮ビデオから、こうした二次犯罪がいくつも簡単にできてしまうんです。怖い話じゃないですか!? だからこそ、盗撮犯罪を阻止しなくてはダメだと思ったんです」

しかし、実際の作業は地味でつらいことの積み重ねだという。

「去年決行した『1週間・盗撮場所確定の旅』はつらかったなあ……。関東から中部地方の盗撮現場と思われる場所を回ったんですけど、経費を削減するために車の中にも泊まりました。食事もほとんどコンビニのおにぎりですよ。

そうして盗撮現場を特定できたら、今度は盗撮されたという被害女性に話を聞きに行く。それが終わった深夜にやっと車内で就寝するんですが、一日のうちには何軒もの温泉に浸かるわけだから肌はピリピリ、カサカサに……。『なんでこんなことしとんのやろ?』って泣きながらクリームを体に塗ってましたね」

そう話す平松氏は、清潔にはしているが、確にお金持ちには見えない。

女性必見! 盗撮の見分け方!

マジックミラーの判別法

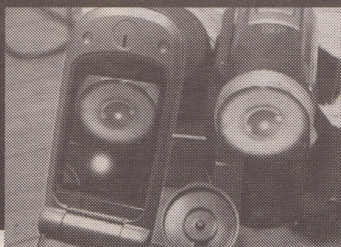
ラブホテルには、たいていベッドの周りに鏡がある。ホテルぐるみの盗撮犯はここを狙っている。マジックミラーだった場合、ベッド側から見ると鏡のように見えるが、真こう側からは丸見えで撮影し放題だ。

その見分け方は指一本で確認できる。本物の鏡の場合、鏡に指をつけると自分の爪と鏡に映る爪との間にガラスの厚さ分の空間ができる(上)。しかし、マジックミラーの場合は、ガラスがないため、爪と爪がくっついて見える(下)。それがすべてマジックミラーだとは言えないが、その可能性は高い。



赤外線盗撮の見抜き方

夏になると増える水着盗撮。赤外線ムービーを使えば、水着の中身、乳首や陰毛が透けて見えてしまう。だが、夜間撮影用の赤外線を昼間に使用するなんてことは、盗撮目的以外ありえない。そこで、簡単にできる赤外線撮影の見分け方を伝授する。携帯電話をひとつ用意。それについているカメラ機能を起動させて、その画面のまま怪しいビデオを見ると、赤外線を発していれば赤い光線を確認することができる。ならば、それはほぼ盗撮をしていると考えて間違いはない。自分や彼女を守るのはキミ次第だ。



普通だったら捜査するはずの警察が、企業保護のために事実を隠蔽し権力で抑え込んだのです。その頃から法整備の必要性を全国に向けて訴えようと思うようになりました。

こんな現状を打破するためにも、ボクが戦っていくしかないと思っっています。誰もこんな苦しいだけの活動をしようとは思わないのだから、ボクが実証して盗撮の怖さを伝えていく。そして必ず「盗撮防止法」打ち立てるで!!

「正直、苦しいよ。ツライし、辞めたいって思うこともしょっちゅうあります。いまだに新たに特定した温泉とかに行くと、『ここ、盗撮されてます』って言うのと、『なんだ、このヘンタイが! ナンクセつけに来て』って、怒鳴り散らされたり、迷惑がられることも多いんです。

当たり前だと思います。相手も自分の関わる施設が盗撮された温泉だとしてホテルを貼られるのはイヤでしょうから。自分でも、なんのためにやっているのかわからなくなることもあります。

正直、金銭的にも苦しいよ。でもボクは、お金は誰からも1円も出しても

らわないって決めています。実は「援助します」って言うてくれる人もいますが、そこでお金をもらったら『なんだ、ボランティアって言うてても、結局はゼニ儲けか』って思われてしまいますし。盗撮しているヤツは、結局はカネです。カネのために女性を撮影して。でも、ボクは利益なんて考えていません。そこはハッキリさせておきたいんです」

活動の最大の目標は、「盗撮防止法」の制定

カネは儲けからなくても、熱く語る平松氏には大きな目標があるという。「ボクには叶えたい思いがあります。

それは盗撮防止法を作ること。その法律ができることで「盗撮しよう」と思う人間が確実に減るし、大きな抑止につながる。なんでそこまで? って笑う人もいっぱいいますよ。でも、ボクには支えてくれる仲間がいる。実際に被害に遭って苦しんでる人もいる。それに、裸を無断で撮ったり排泄シーンを撮って、それを街で普通に売ってるっていう現状をなによりもおかしいと思う」

その批判の矛先は警察、そして政治家にも向かう。

「昔、ひとつ許せないことがありました。ボクは警察は市民の味方だと思ってた。でも違った。あいつらは結局は損得勘定で動いてるんです。

ボクが和歌山のある温泉を解析して特定したんです。そこは県トップクラスの観光企業が経営していて、観光スポットの下真ん中にある温泉。その盗撮ビデオとそのパンフレットとの照合写真と和歌山県警に持って行って説明しました。そしたら警察は、ボクを悪者に仕立て上げ、事実の隠蔽をしようとした。

4月、参議院議員の世耕弘成さんが打ち出した「盗撮防止法案」だったんです。でも結局、郵政民営化の話に押されてその話は流れてしまいました。

あれ以降、「盗撮防止法案」の話が出なくなっちゃいましたが、法律怖さに動かないようになっていた大きい盗撮集団が最近また動き始めています。今年に入って、新しい盗撮DVDがどんどん作られて売られてるんです。



女盗撮師が温泉に持ち込む盗撮グッズ。市販のビデオカメラをレンズをトリートメント部分にキャップ部分に仕込んでいる

